

入会のご案内

厚木えんかんとは

厚木えんかん(厚木演劇鑑賞会)は、良質な演劇を私たちの暮らす街のホールで観劇し、演劇の魅力をより多くの人に広めることを目的として、1986年に創立されました。営利を目的としたプレイガイドや興行団体ではありません。観劇したい演劇の選定から、会の運営まで、全てを会員みんなで行う会員制の鑑賞団体です。

どなたでも入会できます

演劇をご覧になりたい方でしたらどなたでも会員になれます。友人・ご家族などで3人以上のサークルを作って、事務局へお申込下さい。またお近くのサークルを通じて入会することもできます。サークルが作れない場合はご相談下さい。ただし、会員制の会ですので「この演劇だけ観たい」という入会はできません。1年以上は会員として継続して頂きます。

会員になると

月々の会費だけで年5回、様々な演劇を観ることができます。サークルとして、年1回希望する例会を選んで運営に参加し、新しい仲間を誘う宣伝活動や、劇団と協力しながら例会を迎える準備を、みんなで行います。

厚木えんかんならではの魅力

ユース会員(小5~高3)は登録料年500円で、会費無料で観劇できます。事前の申し込みで無料託児も行います。高齢者の方の座席優遇を行っています。

新入会員募集中

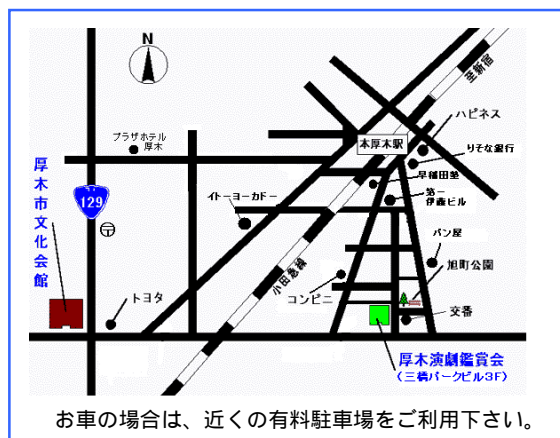
厚木えんかんでは新入会員を募集しています。事務局か、お知り合いのサークル会員に申し込んで下さい。

入会金・会費

入会金(入会時に納めていただきます)
2,500円(1人)
月額会費(会費引落・座席郵送手数料含む)
会費は、毎月ゆうちょ銀行からの自動引落とし。
一般(1人) 2,500円
家族(2人) 4,100円
(1名追加につき2,000円追加)
大学生・障害者(1人) 1,300円
会費以外の入場料金等はありません。

厚木えんかん(厚木演劇鑑賞会)事務局

TEL046(228)9325・FAX(228)9349
〒243-0014 厚木市旭町5-43-1三橋パークビル305
受付時間 AM11時~PM6時(土日祭日休み)



携帯サイトもご覧下さい。
<http://www.enkan.org/i>

チラシ取扱者



観劇へのお誘い

身近で生の舞台を楽しみませんか?



第154回 / 文学座公演「くにこ」

厚木えんかん

(厚木演劇鑑賞会)

TEL / 046 (228) 9325

<http://www.enkan.org>

あなたの生活に潤いを与えるのが、演劇です！

「厚木えんかん」は創立から28年間、身近で観る演劇を支えています...

第154回例会 劇団文学座公演

く に こ



主演 / 角野卓三・栗田桃子 他

全国の団塊世代に劇団文学座が「明るい笑いと元気」を全国の頑張る人々にお届けします。モチーフになるのは、現在でも数多くのファンから支持されている「向田邦子」。彼女が作家になるまでの軌跡と、遺された数々の作品からエッセンスを抽出したオマージュ的な要素を含んだ作品です。おかしくて哀しい、立派じゃないけど憎めない人間のあれこれを描きます。

【日時】 2月28日(金)6:30開演 / 3月1日(土)2:00開演

【会場】 海老名市文化会館・大ホール

第155回選択例会 松元ヒロ公演

松元ヒロ・ソロライブ



作・構成・演出・主演 / 松元ヒロ

政治や社会を風刺し、一世風靡したコント集団「ザ・ニューペーパー」の創立メンバーであった松元ヒロ氏は、現在ソロ活動を行っています。その芸は得意なパントマイムや笑いを武器に、歪んだ世を快活に切り刻む、笑いの中に人間の深さを覗かせます。小ホールならではの空間を笑いに包み、時にホロっとさせる舞台は、立川談志、立川志の輔などに評価されています。テレビでは絶対に見られない!?ライブをお楽しみ下さい。

【日時】 4月23日(水)7:00開演 / 24(木)2:00開演

【会場】 厚木市文化会館・小ホール

俳優座劇場プロデュース公演

- 音楽劇 - わが町

主演 / 土居裕子
原 康義
他



上記例会に都合がつかない場合は、左記例会を観劇できます。両作品を観劇する場合は、2000円の追加会費が必要です。

世界中で70年以上も愛され続けた、ソートン・ワイルダーの傑作戯曲を、音楽劇に仕立てて上演する魅力的な作品です。

【日時】 4月19日(土)4:30開演

【会場】 海老名市文化会館・大ホール

第156回例会 劇団東演公演

ハムレット



主演 / 南保大樹・M.ド'ラヒーニ 他

『ハムレット』はシェイクスピアの傑作中の傑作で、世界中で何度となく上演されています。今回のハムレットは、モスクワ・ユゴザバード劇場を創立したベリャコービッチの手で魔法のように生み出されて花開き作品です。今までの常識を遥かに超えるスペクタクルとしての迫力、舞台狭しと疾走する俳優たち、闇と光と音楽...。ロシア語と日本語の交錯が思いもかけないドラマを生み、観客の想像力を無限に広げる意欲作です。

【日時】 7月5日(土)3:30開演

【会場】 厚木市文化会館・大ホール

例会以外でも楽しい企画を行っています...

例会作品、出演者、日程等は都合により変更する場合があります。

観劇バスツアー



四季『サウンド・オブ・ミュージック』
(2013年3月)

カルチャー教室



舞台女優さんによる
『朗読教室』(2012年10月)

演劇人の講演会



女優・栗原小巻さんを
迎えて...(2012年11月)

会員の手で運営されています...



劇団の皆さんと一緒に舞台
道具の搬入のお手伝い...